



World Prayer and Share Letter

とりなし手の皆様へ

世界のための祈り

ダイアン・グリコ師



アメリカ

リック・ウォレン氏（『人生を導く5つの目的』の著者）が妻が癌と診断された時のことについて話しました。「以前私は、人生は山あり谷ありと思っていました。苦しいところを通しては、また山のとっぺんに行く、その繰り返しだと。しかし、今はそんなふうには思わなくなりました。私にとって人生は線路の2本のレールのようなもので、良いことと悪いことは常にあります。つまり、「悪いこと」はいつも取り組むべきものがあるということ、又、いかに最悪の事態が自分の人生に起こっても、同時に神様に感謝できる「良いこと」が必ずあるということです。楽しい時とは？神様を賛美する時です。困難な時とは？神様を探し求める時です。静かな時とは？神様を礼拝する時です。痛みがある時とは？神様に信頼する時です。すべての時に・・・神様に感謝をしましょう。

（2002年、ポール・ブラッドショー氏によるリック・ウォレン氏とのインタビューより）

リック氏の妻ケイ夫人は、癌が軽快して数年経ちます。神様に感謝します。私たちはケイ夫人の完全な癒しのために祈っている数百万の人々と共に心を合わせて祈っています。ケイ夫人はHIV・エイズの蔓延を阻止するため、アメリカの諸教会の意識を高めようと全力を尽くして働いています。

ベトナム

デヴィッド・ハント博士（ワールドサーヴ・ミニストリー代表）は、共産主義政府であるベトナムが地下教会に10万冊の聖書を印刷する許可を与えた、と驚くべき展開を報告してくれました。ハント氏は、「私たちはこの国の歴史上、最も大きな機会と開かれた門を見えています。ベトナムの教会は爆発的に成長しており、1975年に洗礼を受けた約5万5000人から、今や100万人以上の信徒数に達しています。（ジョエル・ニュースwww.joelnews.org デヴィッド・ハント博士、ミッションネットワークニュースより）

神の御言葉はむなしくご自身のもとには戻りません。聖霊様がこれらの聖書を義に飢え渴いた人々の手に渡るように導いてくださるよう祈りましょう。

中国

ヒューゴー・チャン氏はフルゴスペル・クリスチャン・ビジネスマンの集いを導く、香港に拠点を置く弁護士です。彼は、福音伝道的に絞った夕食会を主催するというスタンダードなアプローチを用いながら、中国内を100回も旅行しましたが、余り実を結ぶことはできませんでした。しかし、昨年は彼にとって大きな破れがありました。まず、ある大きな国際投資会社から、多額の経済的的祝福をもって彼を顧問弁護士として招きたいとの要請がありました。次に、彼は今年2007年3月に盛大な夕食会のために中国の10都市からビジネスマンを動員し、90人が出席しました。それは素晴らしい夕食会になったそうです。そこに、面識のない政府の役

人5人が夕食会に出席していました。終了後、そのうちの一人がヒューゴー氏に話しかけました。「私はあなたがなさっていることが好きです。あなたは宗教をしているのではありませんね。あなたは我が国の益となるでしょう。私は女性市長のいる691の都市を担当している政党役員です。私の管轄下の全都市でこのような夕食会を持っていただけたらと思います。彼らはあなたが持っているものを必要としています。私は彼らの所にあなたをお連れして、その町々が開かれるように致します！」（C. ピーター・ワグナー、ICA - 2007年ジョエル・ニュース；www.joelnews.orgより）

この扉を開いてくださった神様にすべての賛美と栄光をおさげします。ヒューゴー・チャン氏を祈りに覚えましょう。敵はこの伝道の機会を潰すためにあらゆることをしてくるでしょう。しかし、私たちはイエス様の流された血潮と復活の勝利を及ぼすことができます。ですから、中国での福音伝道のために働いているこれらの人々のために、私たちは霊的戦いを続けていかなければなりません！

イスラエルのための緊急祈り課題

2007年9月11日、イスラム教のテロリストによってガザから発射された2機のロケットが、イスラエル防衛軍(IDF)軍隊基礎訓練基地を直撃し、軍人67人が負傷しました。テロリストは、6年前にニューヨークで起こった9.11のテロ攻撃の犠牲者に敬意を表すために持たれた全国的な追悼式と同じ日に、「憎悪」のメッセージを送っていたように見えます。又、他の敵対国がイスラエルに攻撃するのを誘発させ、イスラエルに報復をけしかける目的があったように思われます。

「二つのパレスチナ人テロ集団、パブリック・レジスタンス委員会(ナスル・サラ・アルディン組織)とイスラムのジハード武装組織であるアルクドス組織が、その攻撃の犯行声明を出しました。ファウジ・バーホウム(ハマスのスポークスマン)はハマ斯拉ジオで、『これはそのレジスタンスのためのアラールからの勝利である、と私たちは考える。』と言いました。負傷したイスラエル軍人67人のうちの1人は危機的状況にあり、3人は重体、7人は負傷、残りは軽い負傷でした。(1人の軍人はその攻撃で脚を失いました。)

現在、イスラエルの国会、クネセットには大きな不安があります。ワシントンで11月に予定されている中東平和サミット(米国が支持している)が中止になるのを避けるため、イスラエルは報復を控えています。しかしながら、平和サミットを中止にしてまでも、このテロ攻撃に応じるべきだというクネセットの有力議員からの要求もあります。」(2007年9月11日CBNNews.com)

毎日のように戦争による負傷者・死者の情報に私達の心は痛みますが、主イエス様の救いの血潮を受けずに死ぬならば、人々は永遠に苦しみ続けます。ですから、私たちは、イスラエルでイエス・キリストの福音を宣べ伝えるように召された人々のために「破れ口」に立つ必要があります。